



報道関係者各位

2026年6月15日(月)

NSF

## 「NSF ジャパン ウォーターフォーラム 2026」開催 国際的な水規格と規制動向が共有される

NSF と在日米国大使館 商務部共催による、初のイベントに  
日本の水関連業界のリーダーたちが集結



NSF 登壇者（左から大島泰平、桑原貴子、  
Nasrin Kashefi）



NSF ジャパン ウォーターフォーラム 2026 会場の様子

人々の健康を守ることを使命とする世界有数の組織である NSF（本部：米国）は、6月11日に東京の在日米国大使館 商務部と共催したイベントにおいて、国際的な水質規格と規制動向を紹介しました。初の「NSF ジャパン ウォーターフォーラム」には、業界リーダーや公共部門の関係者が集まり、日本国内の安全な飲料水の確保について協議しました。

「NSF ジャパンは、製造業者や業界リーダーに対し、水処理システムが厳格な要件を満たすための国際規格とサービスを提供することに尽力しています」と、NSF ジャパンのプロジェクトマネージャーである桑原貴子は述べています。「NSF ジャパン・ウォーターフォーラムは、この取り組みをさらに強化し、官民の関係者間の協力を促進するとともに、最先端の業界知見と専門知識を紹介しました。」

フォーラムでは、NSF 北米水部門 プラスチックおよび配管製品 ディレクター Nasrin Kashefi が既存の NSF 規格および米国の規制動向について紹介しました。続いて、NSF ジャパンのテリトリーアカウントエグゼクティブである大島泰平は、NSF の DWTU 関連規制と、EU 加盟 27 カ国すべてに適用される統一規制枠組みを定める欧州最低衛生要件（EU-MHR）の概要を紹介しました。その中で NSF のプロトコル 534 は、製造業者が EU-MHR への対応準備として、製品事前評価と認証を実施する際に役立つことを紹介しました。

プログラムの最後は、NSF の顧客である旭化成株式会社の品質保証部長 枚本貴司氏、ダイセル株式会社の主席部員 横田智明氏、三菱ケミカルインフラテック株式会社の杉原伊津樹氏をパネリストとして招き、活発なパネルディスカッションで締めくられました。NSF ジャパンの桑原がモデレーターを務めたこのパネルディスカッションでは、各社の NSF 認証製品の紹介から始まり、NSF 認証が研究開発活動やマーケティング、販売などにどのような影響を与えたのか、今後事業の成長に NSF に望まれる支援などをディスカッションし、水源から蛇口まで安全な飲料水を確保する上での規格の役割や、業界の課題に対処するための革新的で地域に根ざしたソリューションに焦点が当てられました。

NSF ジャパンは、食品、水、ウェルネス業界に 30 年近くサービスを提供してきました。同組織は、水、食品加工、食品機器、レストラン、小売、栄養補助食品、化粧品、パーソナルケア業界の企業を支援し、国内だけでなく北米やヨーロッパなどの地域への輸出においても、安全性、品質、規制環境への対応をサポートしています。

#### <当日のプログラム>

##### ◇既存の NSF 企画および米国の規制動向の紹介

Nasrin Kashefi (NSF 北米水部門 プラスチックおよび配管製品 ディレクター)

##### ◇NSF DWTU 関連規格と、EU-MHR の紹介 (P534 含む)

大島泰平 (NSF ジャパン テリトリーアカウントエグゼクティブ)

##### ◇パネルディスカッション

ファシリテーター : 桑原貴子 (NSF ジャパン プロジェクトマネージャー)

パネリスト : 枚本貴司氏 (旭化成株式会社 品質保証部長)

横田智明氏 (ダイセル株式会社 主席部員)

杉原伊津樹氏 (三菱ケミカルインフラテック株式会社)

##### ◇質疑応答

#### NSF について

NSF は、80 年以上にわたり、公衆衛生基準の策定、世界最高水準の試験、検査、認証、コンサルティングサービス、デジタルソリューションの提供を通じて、人々の健康を守り、向上させることに尽力してきた独立系のグローバルサービス機関です。食品、水、ウェルネス製品業界向けに、これらのサービスを提供しています。NSF は 110 カ国に 4 万社の顧客を持ち、世界保健機関 (WHO) の食品安全・水質に関する協力センターでもあります。

#### <本件に関するお問合せ先>

NSF 広報代理 (株)インテグレートコミュニケーションズ

担当: 向井 ([nmukai@integrate-com.co.jp](mailto:nmukai@integrate-com.co.jp)) 村山 ([amurayama@integrate-com.co.jp](mailto:amurayama@integrate-com.co.jp))

TEL:03-5464-2046 FAX:03-5464-2076